



豪州経済は主要国に先駆けてコロナ前の水準を回復

- 豪州準備銀行は政策金利の据え置きを決定。次回7月会合で国債買い入れ策の継続の是非が判断される見込み。
- 豪州の1-3月期GDPは前期比+1.8%と市場予想を上回る。民間投資が新たな豪州景気のけん引役に浮上。
- 1-3月期の豪州の成長率は主要国の中で最も堅調。豪州経済は主要先進国に先駆けてコロナ前の水準を回復。
- ビクトリア州の都市封鎖の影響は限定的の見込み。豪州株は堅調な景気回復を好感して史上最高値を更新。

RBAは6月1日の理事会で政策の据え置きを決定

豪州準備銀行(RBA)は6月1日の理事会において、政策金利および豪3年国債利回りの誘導目標を0.10%で据え置く決定を下しました(図1)。

RBAの声明文では、「2024年までに利上げの条件が満たされるとは予想していない」との従来からの金融政策の方針が維持されるとともに、次回7月6日の理事会において、2021年9月に完了見込みの国債買い入れプログラム(第二弾)の継続の是非を判断する見方が示されました。

1-3月期の豪GDPはコロナ前の水準を上回る

2021年1-3月期の豪州の実質GDP成長率は前期比+1.8%と3四半期連続のプラス成長となり、市場予想(+1.5%)を上回る結果となりました(図2上段)。

また、1-3月期の実質GDPは、コロナ前の2019年10-12月期の水準を上回り、豪州経済がコロナ危機から早期の正常化が進んでいることが確認されました(図2下段)。

民間投資が新たな豪州景気のけん引役に浮上

GDPの内訳を見ると、豪州経済のけん引役がコロナ危機直後から足元にかけてシフトしていることがわかります。

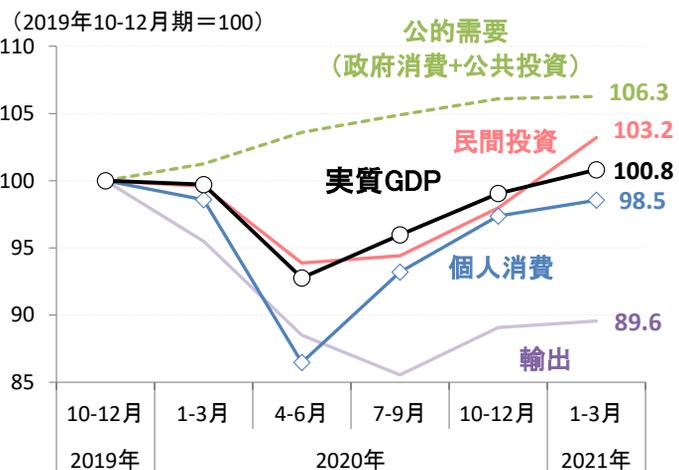
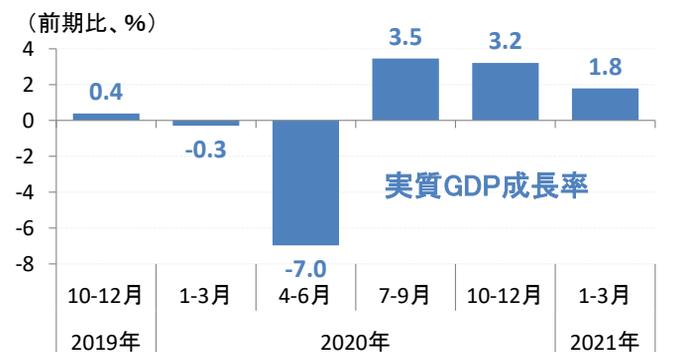
コロナ危機が深刻化した2020年上半期には、民間需要が大きく落ち込む中、豪州政府の財政支援策を背景に公的需要が景気を下支えました。その後、コロナ危機が一巡した2020年下半期には、堅調な個人消費が豪州景気の回復を主導してきました。

今回公表された2021年1-3月期のGDPでは、引き続き個人消費の緩やかな改善基調が続く中、新たに住宅投資や設備投資などの民間投資が景気けん引役として浮上しました。こうした動きは、公的部門から民間部門へ、個人部門から企業部門へと豪州景気の回復のすそ野が広がりがつつあることを示しています。

図1: 豪州準備銀行(RBA)の政策金利と国債利回り



図2: 豪州の実質GDPの推移



(出所)豪州政府統計局 (注)季節調整済。

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



1-3月期の豪州の成長率は主要国で最も堅調

2021年1-3月期の実質GDPを国際比較すると、豪州の実質GDP(前期比+1.8%)は主要国の中で最も底堅い成長率となりました(図3)。欧州や日本では新型コロナウイルスの感染再拡大に伴って1-3月期はマイナス成長となったほか、コロナ危機からの景気回復で先行してきた中国では経済成長が鈍化する兆しがみられます。

豪州は主要先進国に先駆けて景気回復進む

また、実質GDPの水準の面でも、豪州は米国や日本、ユーロ圏などの主要先進国に先駆けてコロナ前の水準を回復しました(図4)。

2020年のコロナ危機前後の世界景気は、各国の景気の連動性が高い状況が続いてきたものの、足元でコロナ危機からの景気の急回復局面が一巡し始める中、各国の景気の方角性にはばらつきが生まれつつあります。今後は、自律的な内需回復の底堅さという面から豪州への評価が広がる可能性があると考えられます。

ビクトリア州の都市封鎖の影響は限定的の見込み

豪州でのコロナ感染動向は、2020年10月以降、国内感染が抑制される終息状態が続いています(3頁図6)。

5月下旬にはビクトリア州で小規模のクラスターが発生したことで、同州政府は5月27日深夜からの1週間のロックダウン(都市封鎖)導入を決定しました(その後、メルボルン都市圏でさらに1週間のロックダウン延長を決定)。

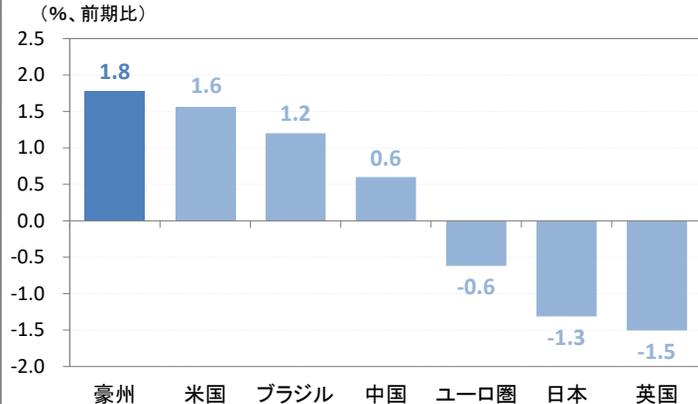
もともと、ビクトリア州の新規感染者数は6月3日には3人まで減少が進むなど、早くも感染終息が視野に入りつつあり、ロックダウンの長期化が豪州経済への悪影響を及ぼすリスクは限定的とみられます(3頁図7)。

豪州株は景気回復を好感して史上最高値を更新

足元の豪州株式市場では、ビクトリア州のロックダウンの影響は軽微に留まり、予想以上の底堅さを示す豪州経済の回復状況が好感され、6月3日には主要株価指数のS&P/ASX200指数は史上最高値を更新しました(図5)。

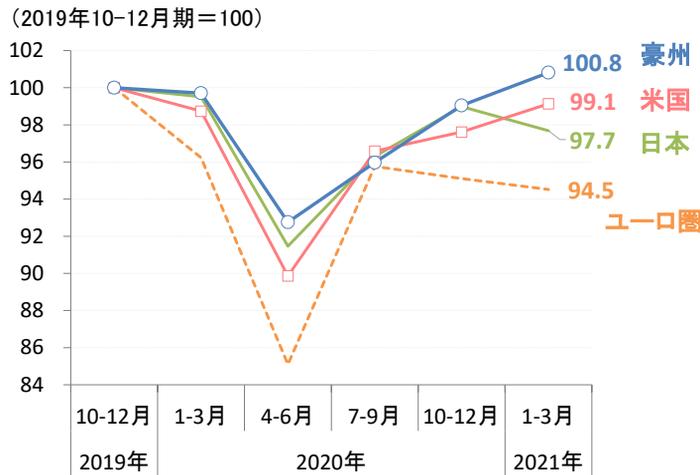
今後は豪州景気の回復が企業収益や配当の改善に繋がることで、豪州株が下支えされると期待されます。

図3: 主要国の2021年1-3月期の実質GDP成長率



(出所)各国統計局

図4: 主要先進国の実質GDPの推移



(出所)各国統計局 (注)季節調整済。

図5: 2020年以降の豪州株の推移

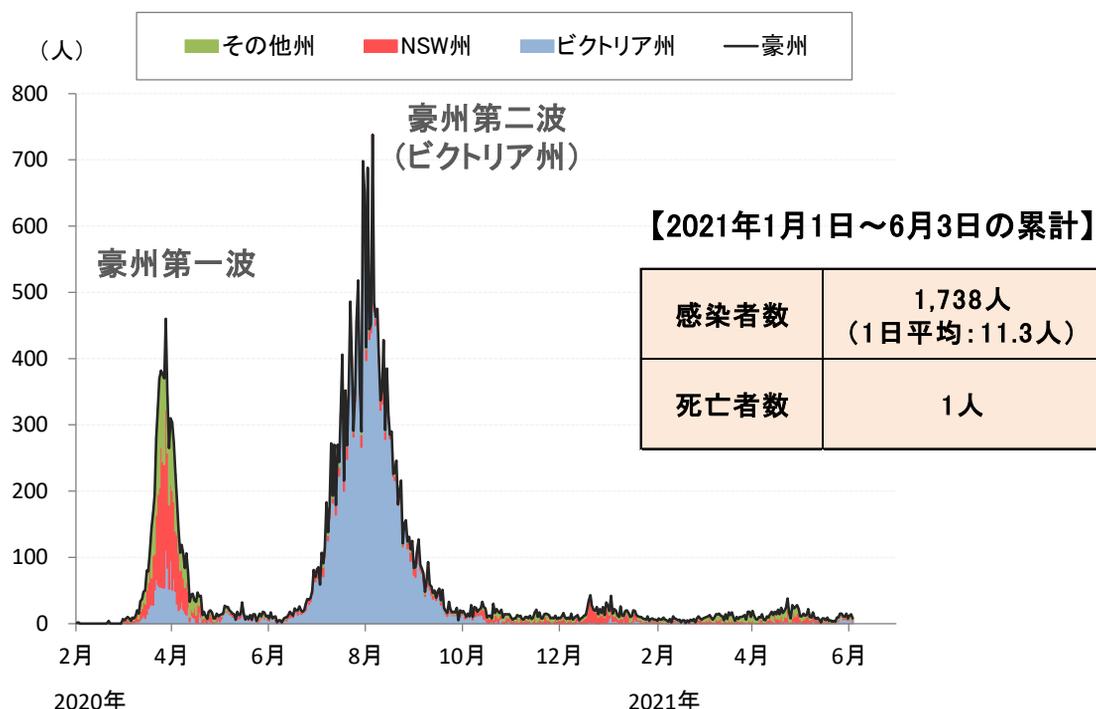


(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日~2021年6月3日

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

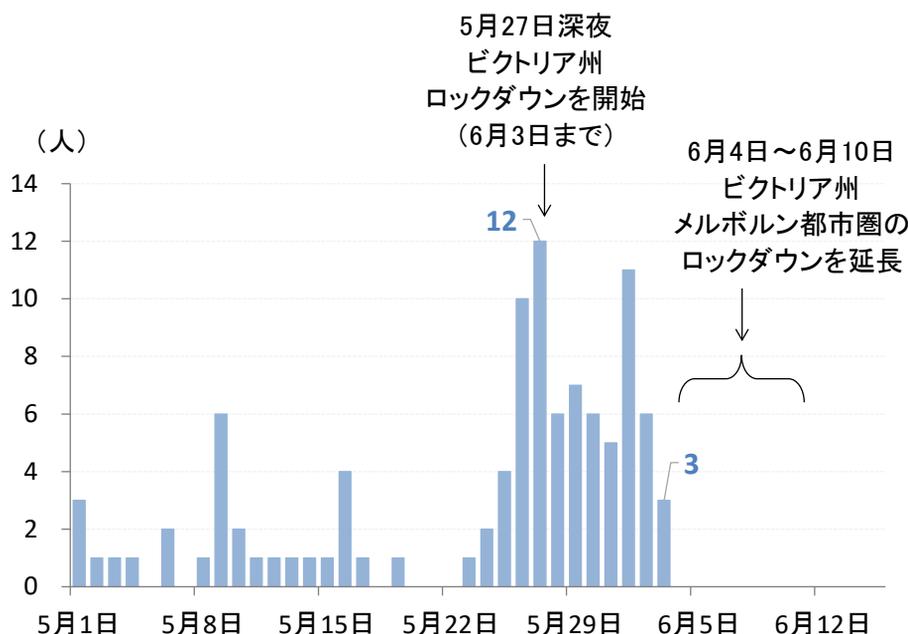


図6: 豪州の新型コロナウイルスの新規感染者数の推移



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2020年2月1日～2021年6月3日

図7: ビクトリア州の新規感染者数の推移



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2021年5月1日～6月3日